

いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本



みんなの読書活動

市制施行50周年を記念して「みらい懇談会提言書～夢と希望に満ちたこれからの守山」の一つに「読書日本一のまちづくり」が掲げられました。

岡市立図書館 ☎・☎(583)1639 ☎(583)6949

質問 病気や健康について知りたいのですが、図書館では何をしていますか？

答 病気や健康について、さまざまな情報を提供しています



健康医療図書コーナー



市立図書館では、健康医療情報コーナーを作ったり、病院や市役所と連携して、病気に関する情報を届けたりしています。

- 健康医療情報コーナーには、医療や薬、健康推進の本が約7,500冊あります。
- 県立総合病院と連携して、毎月2回、専門の看護師や社会福祉士が個別相談を受ける「がん相談支援センター出張相談in図書館」を開催。また年3回「がん教室まなびや」も開催しています〔8月17日(水)には「エンディングノートの使い方」を開催〕。
- 地域包括支援センターと連携して、9月の世界アルツハイマーデーにあわせた展示やオレンジライトアップをしています。



講習会「がん教室まなびや」

君と私は同級生

佐川美術館「アートコラム」

主任学芸員 佐川美術館
 馬場まどか



佐川美術館のブロンズ彫刻は、作品を設置する台座にキャプションが取り付けられています。キャプションとは作品の名前や制作年、材質、作者といった情報が記載されている札のことで、いわば作品の名札みたいなものです。こういった作品なのかを説明する役割があります。当館のブロンズの場合は、作品名と制作年が記載されています。

先日、収蔵品をチェックしていたときのこと。見慣れた作品を点検する中で、ある作品の台座に付けられたキャプションの数字に目が留まりました。なぜ目に留まったかというところ、西暦で記された制作年の数字は、私の生年と同じだったからです。今まで何百回とその作品を見てきたはずなのに、今更新しい発見があるとは思っていませんでした。私が生きてきた年と同じ年数をこの作品も歩んできました。この作品は、どんな人の手に渡ってきたのだろうか、どんな時代を見てきたのだろうか。そんなことを考えながら、自分の今までの人生を重ね合わせてみると、感慨深いものがありました。それからというもの、その作品は私にとって特別な存在へと変わったのです。

アート作品に向き合うのはちょっと苦手という人はいらつしやると思いますが、見方を少し変えて自分との近似点を探してみたりすると、案外楽しめることに気がきます。どういふふうに作品を見たらいいかわからない！という人は、アート作品の中に同級生がいなか探してみるのも面白いと思います。アートがちょっと身近な存在に変わるかもしれません。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話☎(585)7800]でお問い合わせください。